

社会福祉法人 悠遊 30 周年記念

オレンジ・ランプ 上映会

11月19日(日) 午前

会場:生活クラブ館スペース 1・2
世田谷区宮坂 3-13-13
(小田急線経堂駅徒歩3分)

39歳という若さで若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野智文さんの実話を基に、主人公やその家族が、悩み葛藤しながらも生活の中で工夫したり、周囲の理解を得たりしながら、本人らしい暮らしを始める過程を描いたものです。
～「オレンジ・ランプ」とは～
認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

*詳細は下記までお問合せください。

【お問合せ】社会福祉法人 悠遊
電話: 042-439-6501
FAX: 042-425-2662
<https://www.you-you123.com/>

まちの縁がわフォーラム

10月24日(火)10:00~12:00

会場:大田区消費生活センター2階講座室
オンライン参加OK!

基調講演:名畑 恵さん
NPO法人まちの縁側育くみ隊
代表理事

参加費:無料

託児あり(エッココロ加入者のみ)

まちの縁がわワークズの活動報告もあります!
まちの“ほっとスペース”を運営する、ワークズまちの縁がわは、東京に12団体があります。3つの機能に「居場所」があり気軽に「相談」ができ、暮らして困ったときに「ほっとサービス」があります。あなたのまちでも、新しいみんなの“ほっとスペース”づくりをしてみませんか!

申込締切:10/17(火)

右の二次元コードよりお申込ください。

【お問合せ】NPO法人アビリティクラブたすけあい
電話: 03-5302-0393 FAX: 03-5302-0394



インクルファンド・サポーター登録のお願い

あなたの1日10円で、つながり・支えあう豊かなまちを!



サポーター登録していただいた方からの毎月300円の登録寄付を財源に、居場所づくり、子育て支援、障がい者(児)支援事業など、様々な事業や活動に費用を助成しています。ぜひサポーター登録していただき、地域の活動をご支援ください!

● 班・個別配送の方は注文用紙(OCR用紙)に下記6桁の注文番号と申込口数をお書きください。

インクルファンド登録寄付 1口300円(毎月)	
申込期間	9/4(月)~9/8(金)
注文番号	104418
集金月	2023年10月から毎月

生活クラブのインターネット注文 **eくらぶ** インターネット注文 **eくらぶ**からもお申込みいただけます。(9月2回)

*登録寄付は中止のお申し出がない限り継続します。
すでに登録されている方が申込みされると10月分の請求が重複してしまうのでご注意ください

● デポ組員の方はWEBサイトから <https://www.inclusive-gr.com/supporter/> にご登録いただくかお電話にてご連絡ください。

お問合せ/Tel:03-5426-5207 (生活クラブ東京たすけあいネットワーク事業部内)
生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 事務局・平岡



インクルーシブ通信

2023年9月
VOL. 45



発行:生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者:小寺浩子 <https://inclusive-gr.com/>

2023
福祉ツアー

楽しい、カッコいい、自分たちが行きたい場をつくる

NPO法人シニアライフセラピー研究所(藤沢市) 見学会報告



7月13日、2021年度にお話を聞き好評だったNPO法人シニアライフセラピー研究所の事業所、福祉コミュニティカフェ亀吉・パン工房亀吉(就労継続支援B型事業所)・カルチャースクール亀吉(地域共生型デイサービス)を見学しました。参加者の感想の一部を紹介します。



理事長の鈴木しげさん。「わからないことは利用者へ聞いて」

・2006年に自宅の一室を寄り合い場としてスタートして以来、自分たちの場所は自分たちで作る、という考えで次々と事業を展開し、サロンの利用者がパート職員(平均年齢75歳)になっていく。理事長の鈴木さんが、ケアマネとして高齢者や障がい者に何が必要かをよく理解しているからこそ出来ることだが、特に営業をするわけではなく、面白いこと・やってみたくことを実践しながら見せているので、利用者が利用者を連れて来たり、働きたいという人が自然と集まってくるという。共感する人を増やしていく方法が素晴らしい。
・スタッフには福祉のプロを求めている、なるべく現場からスタッフを少なくしているとの説明には、力が抜ける思いがした。



介護職員を抜くことで当事者主体の環境ができた

・カルチャースクール亀吉の施設内ではワンコインで参加できる体操が行われていた。そこに参加していた要介護の年配の女性が、エプロンと三角巾を着けた途端に、シャッキとしてかめキッチンで作られた総菜を小鉢にどんどん盛り付けていったのが印象的だった。自分の役割がある居場所という印象を持った。
・制度やサービスに利用者を無理やり当てはめるのではなく、当事者主体に活動がつけられているので、働いている人たち・参加者の表情が生き生きしている。

お知らせ インクルーシブ事業連合・2023介護保険フォーラム

どうする?どうなる?介護保険!

講師:上野千鶴子さん

社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長

2023年9月26日(火)午後3時

会場:生活クラブ館スペース(世田谷区宮坂3-13-13、小田急線経堂駅徒歩3分)+オンライン

定員:会場70名・オンライン300名まで 参加費無料

■ 介護の社会化に逆行するような介護保険制度改定の流れを止めよう!

すべての人にかかわる問題としてジェンダーの視点からも発信します

お申込み:インクルーシブ事業連合 WEB サイト申し込みフォームより

・題名に介護保険フォーラム参加希望と書きメッセージ本文にご連絡先と参加方法(会場またはオンライン)を記載してください。



お問合せ
フォーム

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい (ACT)/ACTたすけあいワークズ・コレクティブ連合/NPO法人ACT人とまちづくり/社会福祉法人悠遊/東京ワークズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京CPB(コミュニティパワーバンク)/認定NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/NPO法人まちほっと/環境まちづくりNPOエコメッセ

社会福祉法人 悠遊 「職場体験」のご案内



東京都は介護の仕事に関心がある方に介護現場を体験する機会を設け、資格取得支援から就労まで一貫して行うことで、介護人材を確保する事業を行っています。1日でも職場体験に参加し、介護業界への就労を希望する方は無料で介護職員初任者研修等を受講することができますしくみです。

悠遊は職場体験の受入事業者であり、今年度は2024年2月29日まで以下の6事業所で受け入れています。どの事業所も体験時間は10～16時です。体験内容は、基本的にご利用者の傾聴や職員の補助で、直接的な身体介助は発生しません。

手順は次の通りです。

- ① 東京都福祉人材センター（以下、「人材センター」）人材センターは、体験希望者からの申込みを受け、受入

- 【西東京市】(西東京市泉町 3-15-28)
 デイサービスいずみ、訪問サービスいずみ、
 デイサービス悠花、グループホームいずみ
- 【世田谷区】(世田谷区千歳台 4-2-1)
 グループホームちとせ
- 【中野区】(中野区江古田 3-3-22)
 グループホームえごた

事業所と日程調整を行い、受入事業所と体験希望者に実施決定通知を送付（体験日の10日前目安）。

② 決定通知を受けた体験希望者は、直接受入事業所に連絡をし（体験日の5日前まで）、職場体験当日の詳細について確認。

③ 体験終了後、受入事業所は、体験者から「職場体験事業 実施報告書」の提出を受け、引き換えに「体験終了証」を発行。

終了後は、悠遊での就業も大歓迎ですが、人材センターからも、介護の仕事の求人紹介・あっ旋を受けることができます。また、介護職員初任者研修の無料受講申し込みができます。是非、ご利用ください！

ご希望の方は、「人材センター」のWEBサイトにアクセスしてお申し込みください。



にわのいえ・もとまち(国分寺市)

2022年度のインクルファンド助成金を得て、6月18日にオープンしたみんなの家、「にわには」。当日はお天気にも恵まれ、子どもを含む100人ほどが訪れてくれました。アトリエルームでお茶とおしゃべりを楽しむ人、太宰治関連の展示物に見入る人、和室でくつろぎお弁当を広げる家族、庭を駆け回って遊ぶ子どもたち。思い描いていた「にわには」の姿がそこにあり、夢のような1日でした。

オープンしてひと月以上が経ちましたが、見学者は途切れることなく、子どもたちが「また来たよ」と遊びに来てくれたり、公民館帰りの女性グループが立ち寄ってくれたり、地域の方の認知度も少しずつ高まっているようです。



「にわには」は特定の人のためのものではなく、誰でも公園のようにふらっと立ち寄れるインクルーシブな場でありたいと思っています。この家の前当主で洋画家だった齋藤潤氏の作品、太宰治との親交の深さを物語る資料の数々、SP版レコード、月日を重ねて味わいを増した趣ある内装。そして、木々や草花が生い茂る広い庭。宝ものに満ちた「にわには」を、多様な世代、属性の人々が訪れ、互いの思いに触れて、それぞれに新しい発見ができれば、居場所以上の場所になるのでは、とワクワクしています。

にわのいえ・もとまち 杉浦 真子

NPO 法人アビリティクラブたすけあい(ACT) まちの相談パートナー養成講座

日程	テーマ	講師
10/6(金) 13:30-15:30	精神疾患に含まれない心の障がいへの理解 周囲との関わりが難しい、精神疾患「病気」に含まれない心の障がいについて	春日武彦氏:精神科医師
10/12(木) 10:30-12:30	認知症本人と家族をささえる 認知症の人の気持ち、家族の思いを知り、地域での支え合いを考える	NPO 法人アビリティクラブたすけあい SPSD 研究会:香丸真理子
10/18(水) 13:30-15:30	現在の子育て事情 /地域の子育て支援 今の子育て環境と支援のあり方 親子の居場所づくりと運営の実際	小原聖子氏:NPO 法人ゆったりの前代表理事
11/1(水) 14:00-16:00	発達障がいへの理解 発達障がいへの理解と地域での支援について *実参加講座	星山麻木氏:明星大学教育学部教授 保健学博士(一社)こども家族早期発達支援学会会長
11/8(水) 10:30-12:30	まちの機能 ほっとスペース構想 まちのほっとスペース構想とは? ACTが運営するワーカーズ・まちの縁がわについて	まちの縁がわ東京

- 定員:各講座40名 ■申込締切 各回講座1週間前まで
- 参加費:1講座3,000円 ★アビリティクラブたすけあい(ACT)会員は無料
- ※2講座以上受講の場合は、ACTに加入されるとお得です

講座に関するお問い合わせ・ACTへの加入に関するお問い合わせ

TEL: 03-5302-0393 Fax: 03-5302-0394 Mail: kenshu@npoact.net

お申し込みはこちらから



インクルーシブ事業連合総会報告

2023年6月24日、第12通常総会を行いました。代議員数92名のところ、実出席17名・書面提出60名(オンライン参加含む)・委任状2名、計79名ですべての議案を賛成多数で可決し、2023年度の活動をスタートしました。

【主な質問・意見】

・共に働く事業所指定寄付の目標金額を超過した寄付について、次年度に持ち越し事や、事業所指定寄付の中で完結できるようにしくみも検討を。

➡22年度は目標金額に達していない寄付募集团体に配分するしくみに変えた。今後の運用については運営委員会で検討していく。



・まちのほっとスペースについて、収益性が低い、担い手が少ないという課題がある中で収益性の部分について、今後どのように対策をとっていくのか。

➡22年度閉所した3団体は高齢化、コロナ禍による人数の制限などが主な原因だった。事業性を担保するため、介護保険の介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスB、通所型サービスBへの参入も考えられるが、自治体ごとに方針が違い、ほとんど指定を受けられていない。資格が無くとも働け、ゆるやかな労働条件なので地域の組合員に参加してもらう事で担い手の確保に繋がると考えている。

議案審議に先がけて、インクルファンドで助成した団体の活動報告を行いました。

写真左:片付け事業を行う「轍えっさほいさ」(小平市)、写真右:まちのほっとスペースを運営する「ワーカーズ縁がわテラツア」(府中市)。どちらも市民版地域福祉計画に基づく事業の立ち上げ費用を助成しています。